

令和4年度 研究構造図 [言語] 分科会

研究主題

創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導く児童の育成

— 言語力・課題解決力・情報活用力を働かせた探究的な学びを通して —

言語分科会の重点

全ての学びの基盤となる言語力を働かせながら探究的な課題解決に取り組むことで、創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導く児童を育成する。

そのために、「本に親しむ場」であるだけでなく、各教科等における課題解決的な学習、探究的な学習を支えるとともに、主体的・対話的で深い学びを効果的に進める場でもある学校図書館を利活用する。

育てたい資質・能力

A1 図書館活用力

図書館資料から情報を収集・分析・評価し、論述することができる。

取組みの柱

○学校図書館の利活用：幅広い読書を通し、必要な知識を得たり、自分の考えを広げたりする。

A2 論理的思考力

概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりすることができる。

取組みの柱

○知的活動としての言語力向上：言葉を手掛かりとしながら論理的に思考したり、表現したりする。

A3 感性・情緒力

体験から感じとったことや想像したことを、豊かに表現することができる。

取組みの柱

○感性・情緒の基盤としての言語力向上：言葉を手掛かりとしながら豊かに想像したり、創作したりする。

A4 伝え合う力

互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを、発展させることができる。

取組みの柱

○伝え合いの道具としての言語力向上：考えや伝えたいことを適切に表現し、伝達するための語彙を増やす。

- 学校図書館の体系的な活用計画・指導計画を策定し、図書館を活用した実践授業を行う。
- 朝読、読書記録、読書感想文、読書郵便等による読書の習慣化、読後の言語化、共有化を図る。
- 週1回「短作文チャレンジ」を実施し、バランスよく言語力を伸ばすテーマ・条件を設定する。
- 年1回「思索コンテスト」を実施し、より深く考えるためのテーマ設定を行う。
- 国語科「読む」単元を充実させる。（課題解決的な「読み」を提案する授業研究）
- ◇北里大学の研究を通して、書く力・読む力を中心とした言語力の成果検証を行う。